

パラソル組立・取扱説明書

T03500
NB2030

この度は、テイジンパラソルをお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は安全に組み立てて、取り扱うためのものですので、説明書の記載内容に従って下さい。万が一、従われなかった場合には、破損やケガの原因になることがあります。不明な点がございましたら、販売店にお問合せ下さい。



このマークの付いている説明内容については、特に注意してください。

【部材】



【お客様で用意していただくもの】

- ・スパナ（13ミリ・17ミリ）各2本
- ・脚立 1台（パラソル本体吊り込みの際に使用します。）
- ・ヘルメット（安全のため着用して下さい。）

【作業人数】

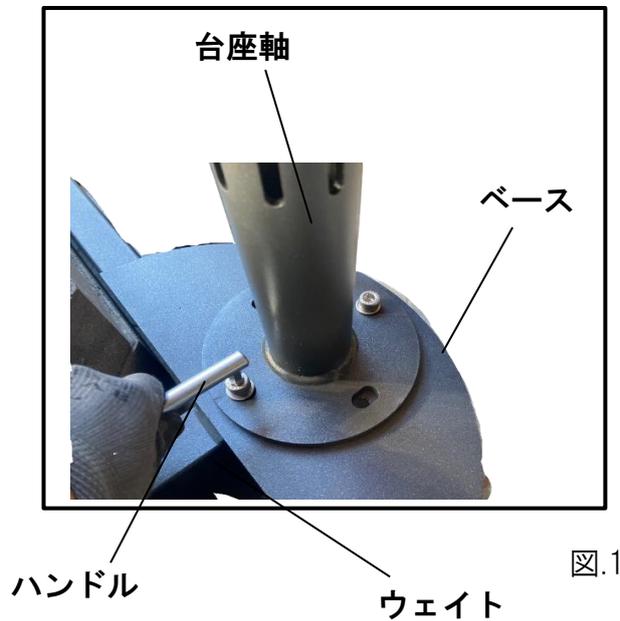
- ・2人以上で組立作業を行って下さい。

【部品】

名称	数量	写真
キャップネジ(a)	4	
ワッシャー大(b)	6	
寸切ボルト小(c)	1	
ワッシャー小(d)	2	
六角袋ナット小(寸切ボルト小用) (e)	2	
寸切ボルト大(f)	1	
六角袋ナット大(寸切ボルト大用)(g)	2	
黒ネジ小(h)固定リブ用	1	
黒ネジ大(i)支柱固定用	2	
ハンドル(k) ※キャップネジを締める時にも使用します。	1	

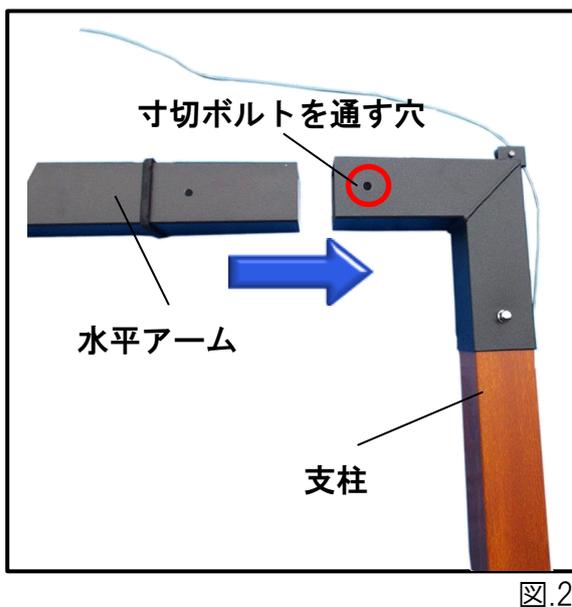
【組立手順】

ベースと台座軸の組み立て



- ① 設置する場所が水平であることを確認してください。
- ② ウェイトをベース (B) の上に置きます。
- ③ ベース (B) の上に台座軸 (C) を置きます。(図.1)
- ④ キャップネジ (a) にワッシャー大 (b) を通して、台座にハンドル (k) で左図のように締めます。(初めは緩めに止めて、最後にハンドル (k) でしっかりと締めます。)

支柱の組み立て



- ⑤ 水平アーム (E) を支柱 (D) に差し込み、寸切ボルト小 (c) を穴に通し、両端よりワッシャー小 (d) を入れ、六角袋ナット小 (e) をスパナで締めます。(図.2)



支柱の固定



図.3

- ⑥ 台座軸 (C) に⑤で組み立てた支柱 (D) を差し込みます。(図.3)



注意

支柱が台座軸の奥まで
差込まれたことを今一度
ご確認ください。

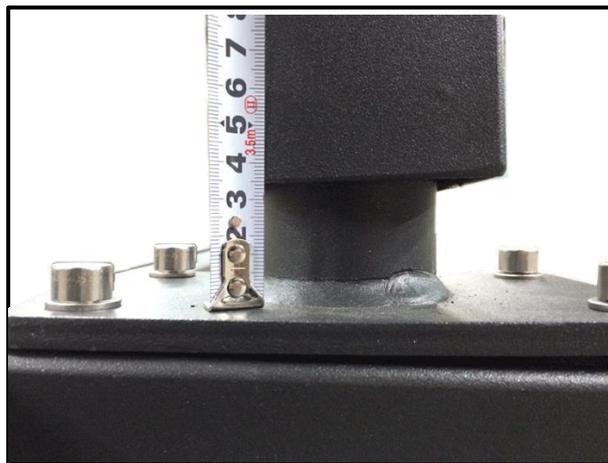


図.4

- 台座軸 (C) に支柱を差込んだ状態で奥まで入っていない場合があります。(図.4)



図.4-1

参考：斜め 45° に回すなどするとポールが奥まで入りやすくなります。(図.4-1)

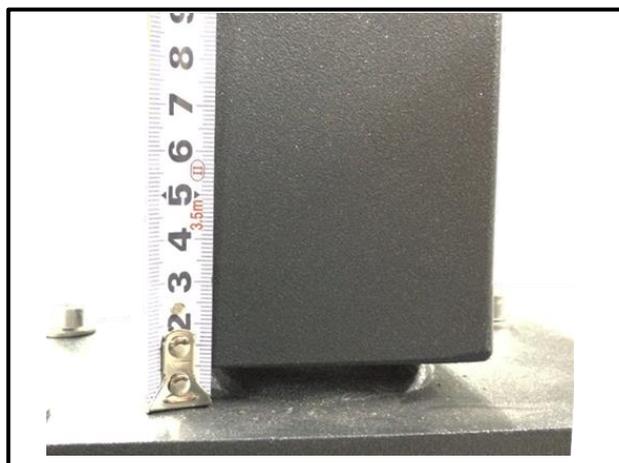


図.5

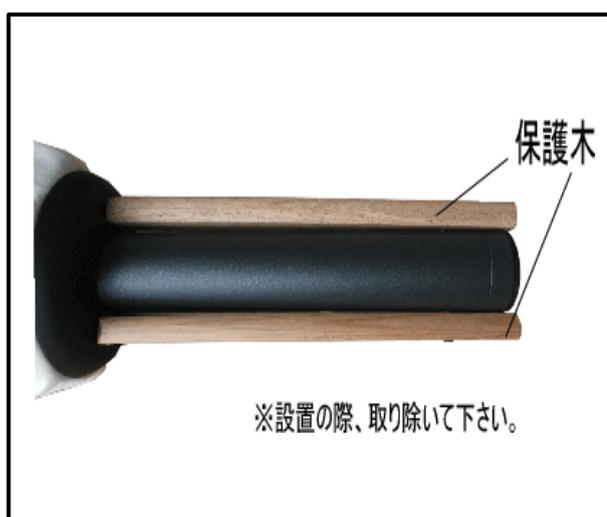
正しく差込まれていると、図5のように台座軸 (C) と支柱 (D) との間は約 1 cm の隙間が空いた状態になります。(図.5)



- ⑦ 支柱 (D) 下部の 2ヶ所を支柱が動かないように黒ネジ大 (i) でしっかりと固定します。(図.6)

図.6

パラソルの取り付け



- ① パラソル本体 (A) の上部にある運送保護用の木 (2枚) を取り外して下さい。(図.7)

図.7

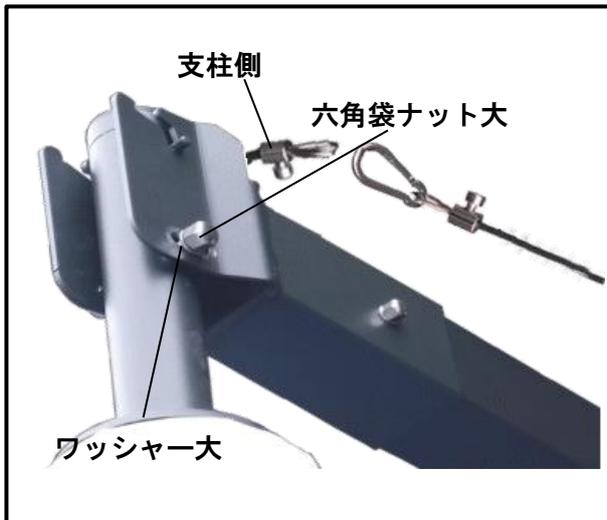


図.8

- ② パラソル本体 (A) を水平アーム (E) の先端に吊り込みます。その際に、ワイヤーの留め具が支柱側にくるように注意して下さい。
- ③ 水平アーム先端部とパラソルのポール部分の穴を合わせ、寸切ボルト大 (f) を差し込み、両端よりワッシャー大 (b) を入れ、六角袋ナット大 (g) をスパナで締めます。(図.8)



注意 高所作業になりますので、十分お気を付け下さい。

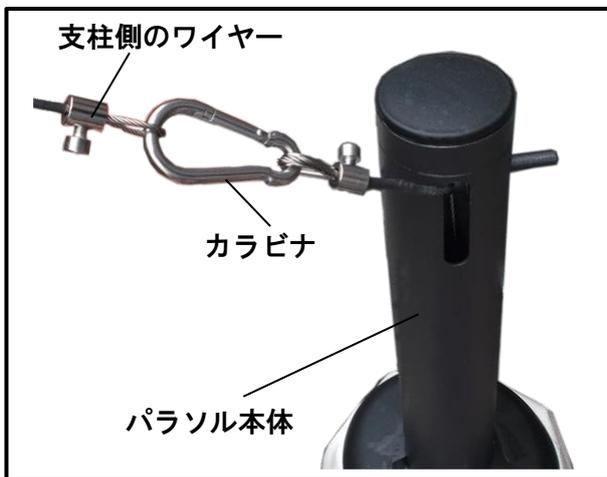


図.9

- ④ パラソル側の留め具 (カラビナ) を巻上げ機から伸びているワイヤーのリングにかけます。(図.9)

【使用方法】

パラソルの開き方



図.10

- ① パラソルを固定しているベルトをほどきます。(図.10-1)
- ② 骨または布を揺すって、キャンバス部のねじれを取り除きます。
- ③ 本体支柱部にある巻上げ機にハンドル(k)を差し込みます。(図.10)
- ④ ハンドルをゆっくりと時計方向に回して下さい。
- ⑤ パラソルが完全に開いたことを確認して下さい。

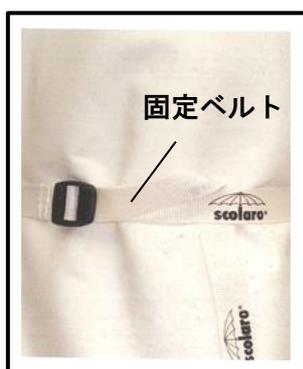


図.10-1



注意

キャンバス付近に障害物がないことを確認してください。



注意

ワイヤーが常に張っている状態(たるみがない状態)であるように、常に保ってください。



注意

ハンドルを回し過ぎるとワイヤーがからまったり本体が破損することがあります。

巻上げ機 使用上の注意



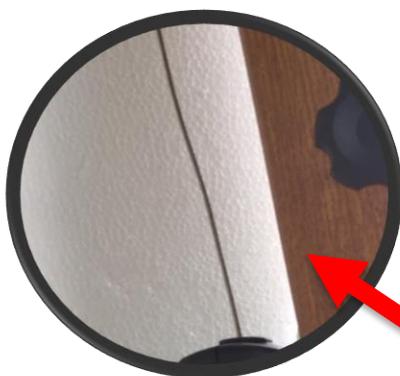
注意

巻上げ機を利用してのパラソルの開閉では以下の点にご注意下さい。

- ① パラソルを開く時には過度に力を入れて巻き過ぎることのないよう注意してください。ワイヤーが破損し開閉操作ができなくなる恐れがあります。
- ② パラソルを閉じる際には、常にワイヤーが適度に張った状態にして巻き過ぎないように注意して操作してください。
パラソルが閉じた後もハンドルを回し過ぎると巻上げ機の中でワイヤーがゆるんでしまいます。
ワイヤーがゆるんでいると次に操作する時にボックスの中でワイヤーが絡まり開閉操作が出来なくなります。
パラソルが閉じた後は閉める方向にハンドルを回さないでください。



○ ワイヤーが張った状態



× ワイヤーがゆるんだ状態

※画像はイメージ図です

パラソルの角度調整と回転機能



図.11

- ① パラソル固定リブを支柱部の好みの位置にネジ穴を合わせて、黒ネジ小 (h) で留めて固定します。(図.11)
- ② リブ側のネジ穴、支柱側のネジ穴の組み合わせによって角度調整が可能です。



注意

パラソルを開いた時は必ず固定リブを支柱のネジ穴に固定して下さい。



注意

ハンドルを回し過ぎるとワイヤーがからまったり本体が破損することがあります。

パラソルの回転操作



図.12

パラソル本体を 360° 回転させることができます。

- ① 回転操作を行う場合にはパラソルを閉じて下さい。
- ② 支柱部の黒ネジ大 (i) 2 か所を緩めます。(図.12)
- ③ 支柱 (D) をしっかり持ち、任意の位置まで回転させ、①で緩めた黒ネジ大(i) 2ヶ所をしっかりと締めます。



注意

台座と回転部分がネジでしっかり固定されていることを確認してください。

パラソルの閉じ方

- ① パラソル固定リブの黒ネジ小（h）を緩めて外します。
- ② 閉じる前にパラソル付近に障害物がないことを確認してください。
- ③ ハンドルを反時計回りにゆっくり回して、パラソルを閉じて下さい。



注意

ワイヤーが常に張っている状態（たるみがない状態）であるように、常に保って下さい。



注意

パラソルを閉じる時には必ず固定リブを外して下さい。



注意

ハンドルを回し過ぎるとワイヤーがからまったり本体が破損することがあります。

完成图



【アフターサービスについて】

- ・アフターサービスのご依頼、ご相談はお買い求めの販売店までご連絡下さい。
- ・お取り扱いまたはお手入れが適切でない為に生じた補修及び部品交換などは、有償となる場合もありますのでご了承下さい。
- ・部品の改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございますので、予めご了承下さい。

【製品使用上の注意事項】

- ・この商品は正しくお取り付けいただき、ご使用いただかないと予期せぬ対物・人身事故につながる恐れがあります。この説明書をよくお読みいただき正しくご使用下さい。
- ・この説明書に記載されている内容に従わずに生じた商品故障・事故に関しましては、責任を負いかねますので、予めご了承下さい。



夜間や外出の際（パラソルが管理できない場合）は、パラソルを収納又は撤去して下さい。



悪天候（強い雨、雪）や風が強いとき、又はそれ等が予想される場合は、収納又は撤去して下さい。



化学薬品は変色の原因になりますので、使用しないで下さい。



柱や骨、キャンパス等に負荷をかけるような重いものを吊り下げるのはお止め下さい。



冬場等において、パラソルが凍結している際にはハンドル操作を行わないで下さい。（解冻を待つて操作して下さい。）



パラソルの近くで、火気の使用は十分に注意して下さい。（火災の原因となります。）

● 販売店

● 発売元

帝人フロンティア株式会社

〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト 31F
TEL.06(6233)3154 FAX.06(6233)5191
<https://solsolsol.jp/>